

事務事業名	集団予防接種事業（乳幼児（ポリオ）学校（二混・麻疹風疹））				担当	健康福祉部 健康増進課 母子健康係	
政策名	C	思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり			電話番号	0285-83-8121	
施策名	06	健康づくりと適切な医療の確保			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
法令根拠	予防接種法					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和23 年度～）	
予算科目	1. 一般会計	4. 衛生費	1. 保健衛生費	2. 予防費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	<p>予防接種法による予防接種は市町村長が行うこととされており、予防接種の対象者は、予防接種を受けるよう努めなければならないとされている。乳幼児（ポリオ）：集団で市保健センターにおいて実施しており、接種対象者は生後90ヶ月までに接種することとなっている。標準的接種年齢は3ヶ月から1歳6ヶ月までの接種が勧められている。期間内に2回接種。</p> <p>学校（二混・麻疹風疹）：小中学校における接種については、各学校での集団接種で実施しており、90%以上の接種率を確保している。接種対象年齢は、二種混合は小学6年生。また、麻疹風疹は平成20年度より5年間の時限措置として、中学校1年生が定期接種となった。</p>						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 22年度実績 集団予防接種については予防接種実施医師・看護師の手配及びワクチン、その他集団接種に関する物の準備 乳幼児（ポリオ）：乳幼児健診時、パンフレット等及び口頭で勧奨。就学前に小学校健康診断時、保育所・幼稚園を通してパンフレット配布。ウイクリーもあか、市ホームページ等に掲載。保健センターで接種。  学校（二混・麻疹風疹）：対象者に対する通知、予診票、接種に関する説明文等は学校を通じて保護者に周知。各学校で接種。  23年度計画 22年度と同様。	⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>19年度(実績)</th> <th>20年度(実績)</th> <th>21年度(実績)</th> <th>22年度(実績)</th> <th>23年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア ポリオ接種者数</td> <td>人</td> <td>1270</td> <td>1246</td> <td>1364</td> <td>1334</td> <td>1367</td> </tr> <tr> <td>イ 二種混合接種者数</td> <td>人</td> <td>571</td> <td>591</td> <td>765</td> <td>762</td> <td>760</td> </tr> <tr> <td>ウ 麻疹風疹混合接種者数</td> <td>人</td> <td></td> <td>614</td> <td>789</td> <td>805</td> <td>806</td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	ア ポリオ接種者数	人	1270	1246	1364	1334	1367	イ 二種混合接種者数	人	571	591	765	762	760	ウ 麻疹風疹混合接種者数	人		614	789	805	806	エ							オ					
名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)																																										
ア ポリオ接種者数	人	1270	1246	1364	1334	1367																																										
イ 二種混合接種者数	人	571	591	765	762	760																																										
ウ 麻疹風疹混合接種者数	人		614	789	805	806																																										
エ																																																
オ																																																
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 ポリオ対象者：生後3ヶ月から7歳6ヶ月児 二種混合予防接種対象者：小学校6年生 麻疹風疹混合対象者：中学校1年生	⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>19年度(実績)</th> <th>20年度(実績)</th> <th>21年度(実績)</th> <th>22年度(実績)</th> <th>23年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア ポリオ接種の標準的な対象者数（3ヶ月から1歳6ヶ月児）</td> <td>人</td> <td>1362</td> <td>1304</td> <td>1460</td> <td>1478</td> <td>1502</td> </tr> <tr> <td>イ 二種混合の対象者数</td> <td>人</td> <td>637</td> <td>624</td> <td>772</td> <td>817</td> <td>722</td> </tr> <tr> <td>ウ 麻疹風疹混合の対象者数</td> <td>人</td> <td></td> <td>645</td> <td>817</td> <td>827</td> <td>790</td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	ア ポリオ接種の標準的な対象者数（3ヶ月から1歳6ヶ月児）	人	1362	1304	1460	1478	1502	イ 二種混合の対象者数	人	637	624	772	817	722	ウ 麻疹風疹混合の対象者数	人		645	817	827	790	エ							オ					
名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)																																										
ア ポリオ接種の標準的な対象者数（3ヶ月から1歳6ヶ月児）	人	1362	1304	1460	1478	1502																																										
イ 二種混合の対象者数	人	637	624	772	817	722																																										
ウ 麻疹風疹混合の対象者数	人		645	817	827	790																																										
エ																																																
オ																																																
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 予防接種を受けることにより、感染症を予防する。	⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>19年度(実績)</th> <th>20年度(実績)</th> <th>21年度(実績)</th> <th>22年度(実績)</th> <th>23年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア ポリオの接種率</td> <td>%</td> <td>93.2</td> <td>95.6</td> <td>93.4</td> <td>90.2</td> <td>91.0</td> </tr> <tr> <td>イ 二種混合の接種率</td> <td>%</td> <td>89.6</td> <td>94.7</td> <td>99.1</td> <td>93.3</td> <td>95.0</td> </tr> <tr> <td>ウ 麻疹風疹混合の接種率</td> <td>%</td> <td></td> <td>95.2</td> <td>96.6</td> <td>97.3</td> <td>98.0</td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	ア ポリオの接種率	%	93.2	95.6	93.4	90.2	91.0	イ 二種混合の接種率	%	89.6	94.7	99.1	93.3	95.0	ウ 麻疹風疹混合の接種率	%		95.2	96.6	97.3	98.0	エ							オ					
名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)																																										
ア ポリオの接種率	%	93.2	95.6	93.4	90.2	91.0																																										
イ 二種混合の接種率	%	89.6	94.7	99.1	93.3	95.0																																										
ウ 麻疹風疹混合の接種率	%		95.2	96.6	97.3	98.0																																										
エ																																																
オ																																																
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 感染症の発生予防、まん延防止を図り、健康な状態で生涯暮らしてもらう。	⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>19年度(実績)</th> <th>20年度(実績)</th> <th>21年度(実績)</th> <th>22年度(実績)</th> <th>23年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 予防接種を受けて健康な生活が送れた数</td> <td>人</td> <td>1841</td> <td>2451</td> <td>2918</td> <td>2901</td> <td>2933</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	ア 予防接種を受けて健康な生活が送れた数	人	1841	2451	2918	2901	2933	イ							ウ							エ							オ					
名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)																																										
ア 予防接種を受けて健康な生活が送れた数	人	1841	2451	2918	2901	2933																																										
イ																																																
ウ																																																
エ																																																
オ																																																
(2) 総事業費の推移																																																
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0																																							
			県支出金	千円	0	0	0	0	0																																							
			地方債	千円	0	0	0	0	0																																							
			その他	千円	0	0	0	0	0																																							
			一般財源	千円	2,900	7,005	8,250	8,548	0																																							
			事業費計(A)	千円	2,900	7,005	8,250	8,548	0																																							
	人件費		正規職員従事人数	人	4	5	5	5	0																																							
			延べ業務時間	時間	204	219	294	300	0																																							
			人件費計(B)	千円	855	915	1,192	1,280	0																																							
トータルコスト(A)+(B)				千円	3,755	7,920	9,442	9,828	0																																							

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	ポリオ、二種混合は、予防接種法に基づき、感染症の発生予防蔓延防止を図るため、昭和23年から開始している。 麻疹風疹は、平成20年度より5年間の時限措置として、中学校1年生が定期接種となる。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	

2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 予防接種を実施することにより、感染症の発生予防に結びつく。また、市民の健康保持は市の役割である。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 予防接種法で市町村長の業務となっており、妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 予防接種法に基づき実施しているので、対象・意図は適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 予防接種法に基づき実施しているので、向上の余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 予防接種法に基づく事務であり、廃止・休止はできない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の事業費であり、削減できない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の職員数で実施しており、人件費を削減することはできない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 対象者全員に接種しているので、公平・公正である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し( <input type="checkbox"/> : 目的妥当性 <input type="checkbox"/> : 有効性 <input type="checkbox"/> : 効率性 <input type="checkbox"/> : 公平性 ) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							